

大学におけるスポーツ専門職のための 実践的教育プログラムとその展開

ローリー・レーン
ウィルフリッドローリエ大学
産学連携教育マネージャー



要 約

ウィルフリッドローリエ大学は1911年に創設され、1973年には2,300人の学生を抱え、州によって援助される大学となった。今日、ローリエ大学は芸術、科学、音楽、ビジネス、社会福祉、教育の学部からなり、学生数は13,000人に達する。

ローリエ大学が学生に人気の高い理由の1つはそのCO-OPプログラムにある。1978年にローリエ大学が開始したCO-OPプログラムは、英語によるビジネスCO-OPプログラムとしてカナダで最初のものであった。今日、どの時点でも1,000人以上の学生がCO-OPプログラムに参加しており、カナダでも最大のビジネスCO-OPプログラムを形成している。

芸術学部と科学学部のCO-OPプログラムは1980年に始まった。1998年には運動学と体育教育学の学生がCO-OPプログラムに参加できるようになった。参加できる人数には制限があり、競争は激しい。参加を許可された学生は、包括的な準備プログラムを修了してから実際の仕事に就く。就業期間は2つの学期であり、2年生または3年生の終わりの夏季に実施される。

CO-OPプログラムは学問を実践に結びつける機会となる。学生はこのプログラムを通じて「売れる」スキルを身に付け、人的なつながりを広げ、めざすべきキャリアを明確にする。芸術学部と科学学部のCO-OPでは、35%の学生が政府関係、35%が民間企業、残り30%が非営利団体で仕事に就く。

運動学の学生の場合、1998年にCO-OPプログラムが始まって以来、延べ100以上の雇用先で働いている。このうち、キャンプとレクリエーション関係の雇用が43%、クリニックの雇用が13%であり、残りの43%はリサーチ、パーソナル・トレーニング、高年齢者プログラム、スポーツ・コーディネーションなどに分散している。

カナダではローリエ大学のほかにも7つの大学が運動学と体育教育学のCO-OPプログラムを提供している。ほとんどの場合、3セメスターのシステムのもとで少なくとも3つの就業学期が用意されている。

雇用主にとっては、CO-OPプログラムは、短期の労働力のニーズを満たし、将来のフルタイムのスタッフを見つけ出すためのコスト効率のよい方法となる。多くの雇用主がローリエ大学を選ぶのは、しっかりした学習プログラム、優秀な学生、細かく配慮された迅速なサービスといった理由による。